

デジタル詐欺 が急増中それは 膨大なコストに

コンテキストに基づく意思決定が、検知から防止に移行し、技術に精通した犯罪者を出し抜くのにいかに役立つのかをご確認ください。

teradata.

celebrus ●
FRAUD DATA PLATFORM

COVID-19 は、消費者のデジタルチャネルの利用を加速させました。

そして、犯罪者もそれに追隨しました。

デジタル詐欺の状況

デジタル詐欺が増加しています。犯罪者は、デジタルチャネルを悪用する新しい戦略を瞬く間に編み出しました。

増大する損失：リアルタイム決済の出現により損失があつという間に発生する一方で、損失を回収することは難しくなっています。

規制当局は、銀行が措置を講じるよう圧力を強化：検知と防止は、金融サービスの最優先事項となっています。

91%

2020年の詐欺件数増加率¹

5%

全デジタルトラフィックのにしめるアカウント乗っ取り攻撃の割合²

2060 億ドル

2021年～2025年で予測されるオンライン詐欺での損失額³

¹ Scam Advisor 「The Global State of Scams 2021」

² Arkose Labs 「How Cybercriminals Hack into a Digital Account in a Few Easy Steps」

³ Juniper Research 「Online Payment Fraud Losses to Exceed \$206 Billion Over the Next Five Years; Driven by Identity Fraud」

現在の不正防止ソリューションは不十分であり、取引データとデジタルデータの両方を活用するための洗練さに欠けています。

リアルタイムのデジタル決済の世界で、こうしたソリューションは遅れを取っています。

犯罪者は脆弱なリンクを狙います。脆弱なリンクにならないことが大切です。

ベンダーは、自社のソリューションがデジタル詐欺を防止すると言えるように、急ピッチで不正防止ソリューションに生体認証のサポートを追加しています。しかし、これらの統合は、データ収集機能と分析機能が限定的です。サポートしたとはいえ、不正を防ぐための処理能力がありません。

データを所有していなければ、詐欺と戦うことはできません。

ほとんどの不正防止ソリューションは閉じたシステムです。ベンダーは生体認証データを収集して、顧客のトランザクションアクティビティに簡単にリンクできない閉じたまたは匿名化されたクラウドリポジトリに保存します。しかし、不正と戦うには、まずすべてのデータを結合する必要があります。そのため、データを所有する必要があります。

犯罪者の動きはスピーディです。対抗するには、それを上回るスピードが必要です。

不正との戦いは、新しい不正モデルと新しい不正防止技術がぶつかり合う絶え間ない戦いなのです。不正は単一のモデルで阻止することはできません。何千ものモデルが必要です。従来の不正防止ソリューションでは、このようなモデルを構築し、稼働させるために必要な量の詳細データを取得、保存、処理することはできません。

単純にデータを増やすことではありません。 必要なのは、コンテキストを持つデータを増やすことです。

コンテキストは、不正の検出と防止に重要です。またスピードも重要です。

現行の不正防止ソリューションは、詐欺師が検出を免れるために利用している戦略の急速に進化に追いつくことができません。未来志向の不正防止ソリューションには、次の5つの主要な機能が必要です。

トランザクションとインタラクションを結合：従来のトランザクションによる情報と、デジタルインタラクションを記述した新しいデータとを合わせることで、コンテキストによるインテリジェンスが得られ、不正な行動の検出を含め、豊富なインサイトが導出できます。

IDをマッチングして顧客を検出：顧客はチャネル間を流動的に移動し、顧客データをキャプチャするシステムは多数にわたり形式も異なるので、顧客プロフィールをマッチングしてリンクする能力が要求されます。

何百万ものモデルによるハイパーパーソナライゼーションを実現：パーソナライズド人工知能やマシンラーニングモデルを顧客ごとにトレーニングして導入することで、インタラクションが真正なものか、悪者が生成したものか、より正確に検出できるようになります。

リアルタイムのアクションで介入を発動：応答時間がリアルタイムなら、不正を検出するだけでなく、介入を発動して損失を防止することも可能です。

絶えず学習し進化：AIとマシンラーニングのメソッドを活用して、ユーザーの行動についてのトレーニングを絶えず行っていれば、新種の不正戦術が出現し次第検出する能力が得られます。

検出から防止へ切り替えるのは今。

不正を阻止させるには、犯人を把握し、そのジャーニーに防止アクションで介入できるソリューションが必要です。

傾聴：コンテキストによるビューをトランザクションごとに構築し、ユーザーがどのようにデジタルチャネル内でナビゲーション、移動、インタラクションをするかを記述したトランザクションとデジタルの行動についての情報を結合します。

把握：不正によるリスクを把握します。ハイパーパーソナライズド人工知能やマシンラーニングモデルをリアルタイムで適用し、悪者とユーザーごとの真正なアクティビティのプロファイルを作成して、真正なアクティビティを認識して許可するとともに、犯罪者をリアルタイムでブロックします。

判断：介入が必要かどうかを判断し、介入が必要な場合は必要な介入の重大度を判断することで、損失の最小化、顧客体験の最大化、不正管理のコスト低減のトレードオフを最適化します。

行動：介入をリアルタイムで実行して不正を防止、真正であると評価された場合はトランザクションの進行を許可します。

不正防止のための介入戦略の例

不正である確率	戦略	介入方法
95%	ハード介入	ユーザーセッションを終了、支払いをブロック、不正防止のための介入を推奨
70 ~ 95%	ソフト介入	二段階認証によるユーザー再検証を要求
50 ~ 70%	手動認証	顧客に警告メッセージを送信し、さらなる調査でフォローアップ

コンテキストに基づく意思決定により、大規模かつリアルタイムに不正を防止

テラデータと Celebrus が実現すること：



不正による損失を低減：詐欺行為にリアルタイムで介入



擬陽性を抑制：詐欺行為をストップし、真正なトランザクションは止めない、これだけでも顧客体験は向上



顧客体験を改善：プロアクティブに介入することで、危険にさらされている顧客を保護



オーバーヘッドをなくして効率性を向上：不正調査の件数を低減して事例管理を軽減するのに加え、調査をシンプル化するインサイトを提供



進化する脅威に対処：新種の詐欺と新しい詐欺手口を先取りし、迅速に対応

導入事例

犯罪者に一步先んじて 顧客を保護。

課題

世界のトップ5に入るある銀行は、COVIDにより15%増加した遠隔操作ウィルス(RAT)詐欺に頭を悩ませていました。損失が膨らみ、規制当局からの圧力も強まっていたため、その銀行は行動を急ぐ必要がありました。

その銀行では、不正を検出して損失を発生前に防止するリアルタイムのソリューションを必要としていました。

2,000 件超 **2,700 ドル**

1か月あたりの詐欺件数

詐欺1件あたりの損失額

ソリューション

Teradata Vantage™ と Celebrus を導入した銀行は、ハイパーパーソナライズされた不正行為防止ソリューションを確立することができました、それは、次の方法によって不正防止、顧客体験の向上、損失の低減、ビジネス効率の向上を実現します。

- デジタルインタラクションをリアルタイムでキャプチャ
- トランザクションパターンと行動パターンのデータを分析
- 何百万ものマイクロモデルを実行して行動を評価
- インサイトを応答時間1秒以内で展開

25 万件 **70%** **1 億ドル**

1時間に分析された一意のカスタマージャーニー (ピーク時)

詐欺の事例で検出して防止できるようになった割合

防止できる詐欺で検出された分の金額

不正防止機能の導入は 大規模であっても簡単 テラデータと Celebrus であれば

Celebrus では、インタラクションからのきめ細かいデータを収集し、すべてのデジタルチャンネルにわたってユーザーを特定します。

あらかじめ構築された広範な Teradata Vantage カスタマーエクスペリエンス・データモデルは、Celebrus からほぼリアルタイムでデータを取得し整理します。

強力な Teradata Vantage 分析エンジンは、顧客レベルで何百万ものハイパーパーソナライズされた AI および機械学習モデルを訓練し、これらのモデルをリアルタイムで適用してデジタルジャーニーをリスクスコア化します。

Teradata Vantage のリアルタイム機能では、ユーザーがデジタルチャンネルにつながっている間、不正を防止するためのコンテキストによる意思決定とアクションが可能になります。

このソリューションは、規制要件を満たせるよう、完全なデータシステムとモデルの説明可能性をサポートします。



データのパワーで不正防止の可能性を最大限に引き出します。

不正防止を小規模から大規模まで必要なパワー、スケーラビリティ、エンタープライズ分析を実現します。

Celebrus は、世界で唯一のファーストパーティ、リアルタイム、エンタープライズクラスのデータキャプチャ/コンテキスト化ソリューションであり、どのオンライン顧客でも、世界トップクラスのデジタル体験を創出して、大幅な節約とオンライン収益の増加を実現します。詳しくは、[Celebrus.com](https://celebrus.com) をご覧ください。

テラデータは、エンタープライズ・アナリティクスのためのコネクテッド・マルチクラウド・データ・プラットフォームを提供する企業です。テラデータのエンタープライズ・アナリティクスは、ビジネスのあらゆる課題を解決します。将来の大規模かつ混在するデータワークロードを今日から扱える柔軟性を提供するのにはテラデータだけです。詳しくは、[Teradata.jp](https://teradata.jp) をご覧ください。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127 Teradata.jp

Teradata のロゴは商標であり、Teradata は Teradata Corporation および/またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。テラデータは、新しい技術やコンポーネントが利用可能になると、製品を継続的に改善します。そのため、テラデータは事前の通知なしに仕様を変更する権利を有します。地域や市場によっては、本書に記載されている機能、仕様、動作の一部を利用できない場合があります。詳細については、テラデータの営業担当者までお問い合わせいただくか、www.teradata.jp をご参照ください。

© 2022 Teradata Corporation All Rights Reserved. Produced in U.S.A. 05.22



teradata.

celebrus
FRAUD DATA PLATFORM